

よし い がわ
吉井川
さか

ね

ぜき

坂根堰

しゅうへん
周辺にみられる

さかな
魚




よしい がわ さか ね ぜき
吉井川と坂根堰

よしい がわ ちゅうごくさんち みくにがせん メートル みちと はっ とちゅう かもがわ よしのがわ
吉井川は、中国山地の三国山（1,252m）に源を発して、途中、加茂川、吉野川、
こんごうがわ しりゅう せとないかい こじまわん そぞ りゅうろ えんちよう
金剛川など支流をあわせて、瀬戸内海の児島湾に注ぎます。流路延長133km、
りゅういせめんせき へろう+0メートル ちゅうごくちほう いっせゆうかせん りゅうろ えんちよう りゅういせめんせき
流域面積2,110km²で、中国地方13の1級河川では、流路延長、流域面積ともに
よんばんめ だい、かせん
4番目の大川です。

さか ね ぜき よしい がわ かりゅういせい かこう やく 10メートル いち ちすい とし ようすい
坂根堰は、吉井川の下流域にあたる、河口から約17kmに位置し、治水、都市用水
きょうきゅう ん とくてい ぼきゅう およ のうぎょうようすいしよすい すいい かくほ もくてき
の供給、不特定補給及び農業用水取水のための水位確保を目的にしています。

ぜき しゅうへん べんやま みょうけんさん かこ さんかん のうこうち ひろ さとやま かんきょう せき
堰の周辺は、熊山や妙見山に囲まれ、山間に農耕地が広がる里山環境です。堰の
じょうりゅうがわ なぎ ゆる かんきょう かりゅうがわ ひらせ ぶち れきてい すなそこ しよくぶつたい
上流側は流れの緩やかな環境で、下流側には平瀬、淵、礫底、砂底、植物帯など
たよう かんきょう せいそく さかな しょうがい
多様な環境がみられます。そこに生息する魚たちを紹介しましょう。

こくど こうつうしやう ちゅうごく ちほう せいびきょく
国土交通省中国地方整備局

おかやま かせん じむしょ かんり だい 2 か
岡山河川事務所 管理第2課

坂根堰の周辺にみられる魚



カワヨシノボリ
 【ハゼ科ヨシノボリ属】
 全長6cm 腹鰭が吸盤になっている。
 春～夏に、石の下に卵を産み、オスが卵を守る。
 子供は海に下らず、川で育つ。

流れの少し速い場所は石底になっています。カワヨシノボリ、シマヨシノボリなどのハゼの仲間、ギギなどが、石の隙間をすみ場や産卵場に使っています。テナガエビなども石の隙間に住んでいます。



テナガエビ
 【テナガエビ科テナガエビ属】
 全長9cm 長いさみ脚をもつ。
 春～夏に卵を産み、メスが腹にかかえて守る。
 子供は海に下り、川を上ってくる。



ギギ
 【ギギ科ギギ属】
 全長30cm ヒゲと、胸鰭のトゲが特徴。
 春～夏に、石の隙間にオスが巣を作り、メスを迎え入れて卵を産ませる。



タイリクバラタナゴ
 【タナゴ亜科バラタナゴ属】
 全長8cm 成長とともに底層に移動し、主に付着藻や小さな水生生物を食べる。
 春～秋に卵を産み、子供は貝の中で20日程度育つ。

流れの緩やかな場所には、水草が生えています。水草の周りにはタナゴの仲間、フナなどの多くの魚が住んでいます。水草は、エビや小魚の隠れ家や魚の産卵場にもなります。



砂地、泥地
 堰の下や上の、流れの緩やかな場所には、砂地や泥地がみられます。そこには、コウライモロコ、セゼラ、スジシマドジョウなどが住んでいます。また、砂地にはイシガイ科の二枚貝がみられ、タナゴの仲間、ヒガイの仲間などが卵を産みつけます。



イシガイ
 【イシガイ科イシガイ属】
 殻長6cm ほそ長い卵型で、先がやや尖る。
 春～夏に、子供が産まれ、魚のヒレに付いて育つ。貝の形になると、砂底に下りる。



アユ
 【アユ科アユ属】
 全長20cm 唇が分厚く、体の表面は滑らか。
 秋に、瀬の小砂利に卵を産み、子供は海で成長して、川を上ってくる。



ウナギ
 【ウナギ科ウナギ属】
 全長100cm 体は筒状で、暗色。腹側は白い。
 親は秋に海に下り、深海で卵を産む。
 子供は主に早春に川を上ってくる。

春には、海から川をのぼってくるアユの通り道となっています。オイカワなど、坂根堰の周りに住んでいる魚も、魚道を利用して、上流に移動します。



オイカワ
 【コイ科オイカワ属】
 全長15cm メスや子供は銀色だが、オスは赤と青の鮮やかな色になる。
 春～夏に、砂や小石に卵を産む。

坂根堰は、海と川を行き来するアユ、ウナギ、モクスガニなどの通り道になります。



モクスガニ
 【イワガニ科モクスガニ属】
 甲幅6cm はさみにフサフサの毛がある。
 親は秋に海に下り、海で卵を産む。
 子供は成長しながら川を上ってくる。

川へ行くときの注意

水かさが多いときは近づかない。



行き先を告げる。



3人以上で遊びに行きましょう。



川に行かない臭気も持ちましょう。



外来魚を放流しないで

オオクチバス



【サンフィッシュ科オオクチバス属】
全長40cm 大きな口と、暗色の模様が特徴。
初夏に、オスが砂底に巣を作り、メスに卵を産ませる。その後、オスが卵や子供を守る。

ブルーギル



【サンフィッシュ科ブルーギル属】
全長25cm 鰓蓋に濃紺色の丸い模様がある。
初夏に、オスが砂底に巣を作り、メスに卵を産ませる。その後、オスが卵や子供を守る。

特定外来生物とは

生態系などに被害を及ぼすおそれのある外来生物（外国から持ちこまれた生物）であり、野外に放すことは法律（外来生物法）により禁止されています。

坂根堰周辺の特定外来生物

坂根堰の周辺には、特定外来生物に指定されているオオクチバス（ブラックバス）、ブルーギルが生息しています。これらの魚は、肉食性が強く、繁殖力が強いのが特徴です。もともと日本にいた魚など（在来種と呼びます）を貪欲に捕食するため、在来種が減ってきています。アユ漁などの漁業にも、影響を与えています。吉井川本来の自然環境を保つため、オオクチバスやブルーギルを決して放流しないようにしましょう。

国土交通省中国地方整備局

岡山河川事務所 管理第2課

〒705-0016 岡山県備前市坂根字土井502-3

TEL.0869-66-7631 URL <http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>